

平成22年度第2回審査委員会の結果

10月16日(土)に第2回審査委員会を開催しました。今回は、干潟小学校と共和小学校の2件の応募がありました。共和小学校は初めての応募であり、企画書のみ(助成金申請書はなし)のいわば「お試し応募」でした。担当の先生が公開の審査委員会にも出席され、審査の過程を参観されました。次回の「本格応募」に期待しています。

干潟小学校は、活動自体は素晴らしく意義があるものの活動計画や予算にやや詰めの甘さが見られると言うことで、審査委員会からの意見付きの助成となりました。このように、子ども達の学びをより豊かにしたいという審査委員の願いも学校へ伝えていきます。今後の活動に期待しています。

今回は、実際の「審査結果のお知らせ」を裏面に載せました。審査委員の熱き思いの一端をご紹介します。

11月4日(木)に干潟小学校を訪問し、子どもたちに助成金を手渡してきました。

****助成対象となったプロジェクト****

1 旭市立干潟小学校6年生



プロジェクト名 「地域美化大作戦」

活動の概要 干潟地区の美化に対する住民の関心を高めようと子ども達で話し合い、その結果児童自らの手による美化推進の看板を制作し設置することとしました。

設置した看板を見て「地域の美化に協力しよう」「ポイ捨てはやめよう」と言ってくれる人が70%を超えれば大成功としてゴールとします。

学習過程では、「人々の注意を引くイラストや文字のあり方」や「どこにゴミが多いか、またそれはなぜか」「環境美化に対するアプローチの仕方にはどのようなものがあるか」など子ども達の視点から調査したり確認したりします。その結果、子ども達の情報収集能力やコミュニケーション能力、企画力が付くものとしています。

また、地域の人々に美化を訴えるため地域に出向くことで、地域の人々と子ども達の交流が深まることも期待されます。

助成額 47,130円

実際の「審査結果のお知らせ」をご紹介します。
このお知らせと助成金を持って林委員長と事務局で干潟小学校へ出向き、子ども達に手渡してきました。

平成22年10月25日

旭市立干潟小学校 6年生の皆様

「旭3S」運営委員長 林 秋生
審査委員長 上杉 賢士

審査結果のお知らせ

〔審査結果〕

この度、皆さんから応募していただきました「地域美化大作戦」のプロジェクトは、厳正な審査の結果、「旭3S」の目的を十分満たしていると判断し、申請がありました47,130円を助成することに決定しましたのでお知らせします。

〔審査委員会からの意見〕

地域の美化に小学生の皆さんが取り組む活動は、とてもすばらしいことです。
自分たちで設定したゴールに到達できるように、がんばってください。

地域美化のために看板を立てて呼びかければよいという考え方は、少し単純すぎると思います。
なぜポイ捨てがなくなるのか、どのあたりにポイ捨てが多いか、ポイ捨てされたゴミを見て地域の人々はどのように思っているか、などを調べたり話し合ったりすることを通して、より効果的な呼びかけや看板ができるのだと思います。そこで、すぐに看板作りに取り組むのではなく、それまでの活動をしっかり行って、その成果を看板に反映させるようにしてください。

3月の発表会では、皆さんが取り組んだ活動に対して地域の人々がどのように評価してくれたかも紹介してください。

****【参考】共和小学校5年生のプロジェクト（次回の応募に期待しています）****

プロジェクト名 「何度でも行きたい 袋の公園」

活動の概要 学区にある袋公園に遊びに行くのが楽しくなる。子どもからお年寄りまで気持ちよく利用できるようにするにはどうしたらよいかと考えました。そのための調査として、どんな人が利用しているか。また利用人数。利用の多い月は、四季に応じた楽しみ方はできるか。等を調査して、実際に「何度でも行きたい 袋公園」にするにはどんな活動をすればよいかを考え実践するプロジェクトでした。

今回は、助成金の申請はありませんでしたが、審査委員会を参観していただいたことで、子ども達の学習がより深まる活動のアプローチ、企画書・助成金申請書の書き方等を理解していただけたと思います。このような「お試し応募」でも次の学習・活動につながるものであれば大歓迎です。

次回の応募締め切りは、平成23年2月初旬です。

年度末の活動資金に、また平成23年度の活動資金に・・・ ぜひ、ご検討を！

活動報告会は、23年3月5日（土）午後 東総文化会館で開催決定 お待ちしております。

（現在の会員数 個人45 法人27）